



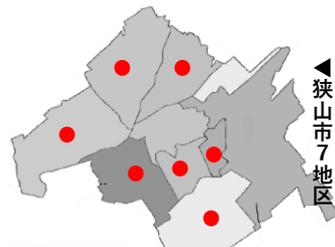
# さやま生活支援コーディネーターニュース

発行日 2023年11月27日

「さやま生活支援コーディネーターニュース」は、狭山市の各地区で進めている「住民支え合い勉強会」＝「第2層協議体」の取り組みを狭山市民の皆様へお知らせするための情報誌です。狭山市を、10の地区（入間川・入間川東・入曽・奥富・柏原・狭山台・新狭山・富士見・堀兼・水富）に区分けし、そのうちの7地区において第2層協議体が立ち上がっています。

今回は、各地域で立ち上がっている「第2層協議体」で行われている活動の様子やイベントの様子をいくつかご紹介いたします。

また、第2層協議体の概要については裏面下部をご覧ください。



▲狭山市7地区



フリーマーケット出店(入曽)



水富祭での一枚(水富)



茶べり場サロン“ほっこり”カーレット体験(入間川)



高齢者のお買い物をサポート(奥富)



恒例行事 ハロウィンイベント開催(柏原)



認知症を知る勉強会(富士見)

## 看護職を目指す学生へ講演を行いました

看護職を目指す東京家政大学看護学科1年生20名に対して、第2層協議体の代表者が2日間にわたり講演を行いました。

今回の講演は、「地域で暮らす人々の理解を深める」ことを目的とした授業の一環で行われ、入曽地区「いりそ支え合いたち」と奥富地区「奥富地区支え合いネットワーク会議」の代表者が、地域活動の様態や役割についてご紹介しました。

また、実際に健康促進をねらいとしたノルディックウォーキングを学生に体験していただいたことで、より地域活動の楽しさを伝えることができたのではないかと感じます。

学生から高齢者の買い物支援や活動者不足について質問を多くいただき、これからの未来を担う学生さんと狭山について考える貴重な機会となりました。



認知症になっても…  
みんなが暮らしやすい社会を目指して

狭山台の第2層協議体「みま〜も狭山台」では、認知症の啓発カラーであるオレンジ色を通じて認知症の普及啓発をする「オレンジガーデニングプロジェクト」に参加しました！

狭山台公民館にて、マリーゴールドの種の配布をしたり、地区の折り紙クラブさん、住民の方に協力をお願いし、折り紙飾りの展示を行いました。認知症サポーターのマスコットキャラクターであるロバ隊長をかたどった展示が目を惹きます！



また、狭山台元気プラザ内の花壇にて、マリーゴールドを育てました。地域の方が協力して水やりや草むしりを行った成果もあり、9月から10月にかけて背が高く、立派な花を咲かせることが出来ました。

みま〜も狭山台では、今後も「地域の方で見守る！」を合言葉に、住みやすい地域づくりに向けて活動をしていきます！



まちに寄り添うベンチ

「まちに彩りを」の掛け声のもと、広瀬2丁目の「メディカルデイつむぎ」の駐車場に、ベンチを設置しました。

見る方の目を引き、自然に誘われるように腰かけてしまう、夢あるカラフルなベンチです。

最近「ベンチがあることで、そこを休憩地点とし、散歩や買物など外出ができるんだ」というお声も多く寄せられています。



どうぞ気軽に腰かけ、顔を合わせた人同士で挨拶をしてみてください。立ち上がる頃にはきっと体も心も軽くなりますよ♪

また「まちの縁側推進プロジェクト水富」の公式ホームページも今夏開設しました。活動紹介から最新情報、ベンチマップ、etc…見どころたくさんとなっているので、二次元コードを読み取っていただくか、「まちの縁側推進プロジェクト水富」と検索してぜひチェックしてください！

まちの縁側推進  
プロジェクト水富



←二次元コードを  
ケータイの  
カメラで読み取る。



協議体とは？

介護保険制度のもと、全国すべての自治体が行う「生活支援体制整備事業」の取り組みです。

超高齢社会において医療や介護ニーズが高まる中、**住民主体の助け合い活動**を行い、高齢者の生きがいと健康を支える仕組みを着実に作っていくことが求められています。

同じ地域に住みながらも、環境が違えば一人一人抱えている生活課題は様々！一人では解決できないこともあります。そのような課題を解決するための方法として、狭山市では次のような体制をとっています。

- ① 狭山市全域を「第1層協議体」、狭山市内を10か所の地区に分け「第2層協議体」とし、支え合いの仕組みづくりに向けて話し合ったり、活動をしたりしています。
- ② 狭山市を良くしていくために、地域の様々な支え合い活動をつなげ、組み合わせていく調整役＝「生活支援コーディネータ」を10地区に配置しています。
- ③ 「生活支援コーディネータ」が「協議体」のネットワークを活かし、地域全体で高齢者の生活を支える体制づくりを進めています。

地域の課題を知っている人はその地域に住んでいる人なので、地域の中で様々な活動をしている人が「第2層協議体」を通じてつながり、課題を共有することが解決の糸口になります！

【編集発行・問合せ先】

社会福祉協法人 狭山市社会福祉協議会 地域福祉担当

〒350-1305 埼玉県狭山市入間川2-4-13 社会福祉会館内

電話：04-2954-0294 FAX：04-2954-4343

Email：chiiki@sayama-shakyou.or.jp



◀HP



◀YouTube



◀FB

